

専門分野				
心理療法、心理アセスメント法(心理検査)				
研究課題				
病院心理臨床、精神分析的な心理療法、セラピストとクライアントの関係性				
教育活動				
担当授業科目(学部)				
なし				
担当授業科目(大学院)				
臨床心理面接学実習Ⅰ・Ⅱ、臨床心理地域援助学実習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、総合的事例研究演習Ⅰ・Ⅱ、臨床心理事例研究演習Ⅰ・Ⅱ、臨床心理学原論演習Ⅱ				
事項	年月	対象者	概要	
教育方法の実践例				
臨床心理地域援助学実習Ⅱ	平成26年～28年の毎年7月	大学院1回生	回想法の座学だけでなく、体験学習できる授業形式にしている。	
作成した教材・資料集				
その他教育活動上特記すべき事項				
看護・介護・福祉分野の職員研修 講師	平成23年～28年の毎年7月～8月の3日間	社会福祉法人天心会(小阪病院、特別養護老人ホーム ヴェルディ八戸ノ里、救護施設フローラ)の職員	①看護とコミュニケーションの講義 ②ロールプレイ ③事例から学ぶ	
創設講座 講師	平成24年6月30日 平成25年1月11日 平成26年11月29日 平成27年9月5日 平成28年6月18日	帝塚山学院住吉高校 高校生	コミュニケーションの心理学入門 子どもの発達とストレス 幼児の言語の発達と幼児の(遊びを通して)社会性の発達 描画法:スクイグル法(相互なぐり描き法)実施	
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前、曲名、担当頁、概要など
著書・訳書・CD等				
学術論文				
①進路上の困難を抱えた学生たちに対する教育支援のあり方にかんする研究Ⅲ	共	平成25年12月	平成24年度 教育力向上に関する共同研究報告 帝塚山学院	室住眞麻子、鈴木千枝子
②専門職大学院における高度専門職業人としての臨床心理士養成のための教育訓練システムの在り方に関する研究	共	平成25年12月	平成24年度 教育力向上に関する共同研究報告 帝塚山学院	藤田博康、大堀彰子、鈴木千枝子
学会発表				
頻繁に遅刻をする青年期女性との治療関係	単	平成23年6月	日本思春期青年期精神医学学会	対人関係で相手を一方的に求めて近づき束縛するので、相手が離れていく、あるいは相手が理解してくれないことがあると相手との関係を切る。それゆえに他者と現実的な関わりが困難になり、引きこもっていた青年期女性の面接過程を報告した

演奏会・発表会				
<b>その他の研究発表</b>				
「自己愛的に引きこもる30代女性」	単	平成25年4月21日	大阪精神分析セミナー 日本精神分析学会認定 研修グループ	鈴木千枝子
「人の言ったことが気になりマイナスに考えてしまう 青年期女性」	単	平成 25年 11 月 24 日	大阪精神分析セミナー	鈴木千枝子
「グループ活動や就職活動でつまずいた発達障が いが疑われる女子大生」	単	平成 27 年 3 月 21 日	大阪対象関係論主催たちメ ンタルクリニック事例検討会	鈴木千枝子
「心が中学生に追いつかない」 中学 1 年生女子の不登校事例	単	平成 28 年 4 月 16 日	大阪対象関係論主催 症例検討会	鈴木千枝子
指定討論	単			
指定討論「精神病の精神分析」	単	平成 25 年4月 21 日	日本精神分析学会認定 研修グループ 大阪精神分析セミナー	鈴木千枝子
指定討論「クラインの生涯と対象関係」	単	平成 26 年1月 26 日	大阪精神分析セミナー	鈴木千枝子
指定討論「対象喪失 再考」	単	平成 27 年 7 月 26 日	大阪精神分析セミナー	鈴木千枝子
指定討論「現代クライン派の潮流:病理解構体につ いて」	単	平成 28 年 1 月 24 日	大阪精神分析セミナー	鈴木千枝子
指定討論「遊び(プレイ)と早期心性」	単	平成 29 年1月 22 日	大阪精神分析セミナー	鈴木千枝子
事例助言者				
事例助言者「自閉症スペクトラム障がいの男性との 面接過程」	単	平成 25 年 6 月 8 日	関西心理センター精神分析 研究会(日本精神分析学会 認定研修グループ)	鈴木千枝子
事例助言者 演題「夫への不満をしきりに訴える女性との面接過 程」	単	平成 25 年 11 月 9 日	関西心理センター精神分析 研究会	鈴木千枝子
事例助言者 演題「母親との関係から自分を見直したい」	共	平成 29 年 3 月 4 日	大阪心理研究所 森ノ宮事例検討会	津田真知子、鈴木千枝子
<b>その他の著書、訳書等(雑誌原稿等を含む)</b>				
松本事例論文へのコメント	単	平成 24 年 3 月	帝塚山学院大学大学院心 理教育センター紀要第 8 号	松本事例論文「近づけそうで近寄りがない 3歳女児とのプレイセラピー」:①クライエ ントとセラピストの関係②『共にいる』あるいは 『共有する』体験③母親との関係の変化な どの視点から述べた。
大瀧事例論文へのコメント	単	平成 25 年 3 月	帝塚山学院大学大学院心 理教育センター紀要 第 9 号	大瀧事例論文「両親から受けられなかった 愛情を夫に求める 30 代女性との面接過 程」:①クライアントが、①面接に持ち込ん だ問題(原家族、結婚と親密性)②面接過 程の展開 ③セラピストとクライアントの関 係の視点から述べた。
吉岡事例論文へのコメント	単	平成 27年 3 月	帝塚山学院大学大学院心 理教育センター紀要 第11号	吉岡事例論文「パズルのように解き明かし ていく面接過程」:1.母親面接過程につい て 2.母親面接のセラピストの立ち位置:セ ラピストは子どもを含めた母親を複眼的な 視点で抱える必要がある。 上記の視点でコメントを述べた。
<b>研究助成金の受給状況</b>				
<b>科研費の採択</b>				
<b>研究タイトル</b>	<b>助成金タイトル、支給元</b>		<b>研究代表者・分担者の区別</b>	
	<b>支給額</b>		<b>支給年度</b>	
<b>その他の外部資金による活動</b>				
<b>研究タイトル</b>	<b>助成金タイトル、支給元</b>		<b>研究代表者・分担者の区別</b>	
	<b>支給額</b>		<b>支給年度</b>	

その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
<b>学内委員等</b>				
<b>就任期間</b>	<b>機関名・委員名・役職名</b>			
平成22年4月～平成27年3月	学生部委員			
平成23年4月～平成24年3月	オープンキャンパス委員			
平成24年4月～現在	心理教育相談センター運営委員			
平成24年4月～平成27年3月	VOICE 委員			
平成26年4月～平成28年3月	ハラスメント窓口委員			
平成28年4月～現在	大学院学生部委員			
<b>社会活動</b>	大阪市職員のためのカウンセリング(カウンセラーとして活動)			
<b>学会役員</b>				
<b>就任期間</b>				
<b>公開講座</b>				
<b>講座名、講演タイトル</b>	<b>単共の別</b>	<b>年月</b>	<b>場所</b>	<b>概要</b>
関西心理センター精神分析研究会 講義「精神分析過程に伴ってわらわられてくるもの」	単	平成23年10月	谷町こどもセンター・関西心理センター	精神分析過程に伴ってわらわられてくる、転移・逆転移・反復強迫・行動化・洞察などについて講義
関西心理センター精神分析研究会 「精神病の理解と治療」	単	平成24年10月	谷町こどもセンター・関西心理センター	精神病の理解と治療を対象関係論から講義
関西心理センター精神分析研究会 「フロイト症例:シュレーパー症例」	単	平成25年10月	谷町こどもセンター・関西心理センター	フロイト論文:シュレーパー症例について解説
関西心理センター精神分析研究会 「フロイト論文:終わりある分析と終わりなき分析」	単	平成26年11月	谷町こどもセンター・関西心理センター	フロイト論文:終わりある分析と終わりなき分析について解説
関西心理センター精神分析研究会 「精神病の対象関係論」	単	平成27年12月	谷町こどもセンター・関西心理センター	精神病の対象関係論について講義
関西心理センター精神分析研究会 「ワークスルーと終結について」	単	平成28年12月	谷町こどもセンター・関西心理センター	ワークスルーと終結について、洞察をより変化につながるものにするためには、ワーキング・スルーの重要性と治療終結の基準について講義
精神分析入門セミナー	単	平成29年3月	大阪心理臨床研究所	症状・病態の精神分析の基本テーマから、精神病の精神分析的な理解について講義
<b>学外機関委員等</b>				
<b>就任期間</b>	<b>機関名・委員名・役職名</b>			
平成23年4月から平成26年3月	大阪府臨床心理士会 理事			
平成2年4月9日から現在	大阪市障がい程度区分認定審査会委員			
<b>その他、学会や学術的団体での活動、社会活動上特記すべき事項</b>				
大阪精神分析セミナー(日本精神分析学会認定研修グループ)運営委員				
<b>海外での活動</b>				
<b>海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること</b>				
<b>期間</b>				